2027年度PMからのメッセージ

氏名・所属：米澤 朋子（関西大学 総合情報学部 教授）



専門分野：

ヒューマンエージェントインタラクション
コミュニケーション支援
生物本能的/感情的ロボット
バーチャルリアリティ
音楽情報科学

略歴：

1999年　慶応義塾大学環境情報学部卒業
2001年　慶応義塾大学政策・メディア研究科修士課程修了
2001年　NTTサイバースペース研究所
2003年　ATR知能ロボティクス研究所
2007年　名古屋大学情報科学研究科後期博士課程短縮修了
2008年下期　未踏本体
2011年　関西大学総合情報学部　准教授
2013年　ヒューマンインタフェース学会　評議員
2017年　関西大学総合情報学部　教授
2018年　ATR知能ロボティクス研究所 客員研究員
2018年　株式会社テイジイエル　研究開発技術顧問
2020年　名古屋大学情報科学研究科　招聘教員
2023年　ATRインタラクション科学研究所 連携研究員
2021年　Human-Agent Interaction 2021 General Chair
2023年　慶應義塾大学SFC研究所　上席所員
2023年　Human-Agent Interaction 2023 Program Chair

メッセージ：

爆発的に創発する細胞になろう！　新しいフレームワークのコアを作ろう！

私たちは、クリエータの皆さんの未踏テーマという細胞を、どんどん増殖させて高めていくという使命を負っていると思っています。かつて私も未踏クリエータでしたが、当時 PM や仲間や同期にそうさせてもらったように、皆さんの未踏テーマたちが変異して新たな力やバリエーションを生み出しつつ、それらが互いに相互作用していく特別な開発期間を、ワクワクし、時に苦しく、欲張り上等で満喫してほしいと思っています。

アイディアを出しっぱなしにするのではなく、常に誰もやったことがない未踏性を追求し続けアップデートをすることが「創造」であり「磨き光らせる」ということだと思います。このチャレンジをしていきたいと思ってくださる方はどんどん応募してください！

未踏性には様々な意味がありますが、世界で初めて何かを見つけたり見出したりすることだけでなく、見出したものの可能性をどう活かすか、いかに多様な可能性を展開するか、こそが爆発的な創造のキーとなると考えられます。このような可能性の展開の先に、世の中の様々なシステムやフレームワークの転換があり、価値観の変革があります。ここまで見渡せるようになって、未踏期間が完了した後も、次世代牽引者として活躍してほしいです。

変わった発想を持っていると自負する人、ぜひ、夢の形を妄想してうっとりしてから、その独りよがりを大切にしながらも、客観的な意見にも向き合って、じっくり練り込み辛抱強く続ける根気をもって臨んでくれたらと願っております。 日常、製造、デザイン、創作、エンタテイメント、などの領域におけるクリエイティブな提案に加え、医療、介護、福祉、教育、といったエッセンシャルな領域にクリエイティブな発想を展開する提案、思考の果てにどこに着地するかわからないほど新奇性（「新規性」とは違います）が高い提案も、もちろん併せてお待ちしています。

審査基準：

1. 自分自身がワクワクできる、強い情熱を注ぐテーマか（主観的な思い入れがあるか）
2. 他者との議論や質疑を通じ、更なる創造性を検討する柔軟性とフレキシビリティもあるか
3. 簡単なプロトタイプなどを見せて、とてもシンプルに説明できるか
4. 適用シーンやユーザ（人間に限らず）を設定し、導入するメリットを十分想定しているか
5. 主観的な思い入れ（ワクワク）を客観的価値に説明し実現できるか
6. 技術的新奇性にチャレンジしているか（ただしスペシャリストである必要はありません）